

「1人1台端末の効果的な活用に向けた取組」について

越前市武生第五中学校

本校の教育目標は、「豊かな心とたくましい体をそなえ、自ら学ぶ生徒を育てる」です。重点目標の一つに、「学ぶ喜びのある学校～確かな学力の育成～」を挙げています。生徒が主体性をもち、他者と協働して学ぶ態度を育成するため、以下の3点を全職員で共通理解し、取り組みました。

- ① 知的探求心を高めるため、新聞等を活用して生徒の興味の範囲を広げる。
- ② 1人1台端末を活用し、他者と協働して考える場を設ける。
- ③ 学習の記録やモニタリングをもとに、生徒の理解度を把握し、個に応じた分かりやすい指導を行う。

【取組と成果】

① 新聞等の活用を通して

福井新聞のデジタル版「ふく e 刊」を全生徒に購入しました。朝学習の時間に興味のある記事を読んだり、さまざまな記事や論説などにふれたりすることができました。また、新聞には多種多様な表やグラフなどがあり、それらと記事とを比較し、必要な情報を読み取ることもしました。15分間と短い時間ですが、1年間継続してきたことで、記事の中から、自分が必要とする情報を選んだり、概要を理解したりできるようになりました。その結果、生徒の考えが深まり、授業はもちろん、学校活動全体において、多様な意見が出るようになりました。



[2022. 6. 19 福井新聞よりふく e 刊活用の様子]

② 1人1台端末の活用を通して。

1人1台端末の活用により、調べたことをまとめる場面では、図を引用したり、ネットのリンクを張ったりすることができ、一人一人が工夫した発表をすることができるようになりました。また、理科の実験や観察などの学習の記録を、写真や動画で簡単に保存できるようになりました。生徒は、個々のペースに合わせて、学習の確認や振り返りができ、生徒の自信に繋がっています。さらに、ICT機器のモニタリング機能によって、個々の進み具合をリアルタイムに把握でき、教師は個に応じた支援がしやすくなりました。

